

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	3	豊かなこころを育むまち
施策分野	2	文化・芸術
10年後のめざす姿	スカイホール、耕心館、郷土資料館「けやき館」をはじめ、多様なプログラムの展開と各施設の適正な維持管理により、誰もが身近に自分の興味に合った質の高い文化・芸術・歴史に親しむ環境が整っています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
スカイホール利用者数	43,768人 (令和元年度)	17,502人				48,000人 ()
郷土資料館来館者数 ()新規来館者数	39,325人 (10,477人) (令和元年度末日時点)	24,339人 (7,395人)				43,000人 (12,900人) ()
説明・コメント		大小ホール等 16,393人 会議室 1,109人				-

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	162,500				
国庫支出金	1,500				
都支出金	768				
地方債及びその他の特定財源	28,000				
総事業費(計)	192,768	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	147,905				
国庫支出金	6,986				
都支出金	339				
地方債及びその他の特定財源	50,000				
総事業費(計)	205,230	0	0	0	0

施策の評価(分析)

文化・歴史・芸術環境を町内外に向けてPRされたい。特に耕心館については、ボランティアの方々の活躍によって維持できているといっても過言ではないため、この組織を大切にしつつ、後継者問題にも取り組まなければならない。

4 重点施策			担当課	—
施策		—	基本構想・重視すべき視点	—
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	—		—	
令和4年度	—		—	
令和5年度	—		—	
令和6年度	—		—	
令和7年度	—		—	

5 個別事務事業概要 (単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	ビューパーク・スカイホール 維持管理・運営事業	社会教育課	84,341	92,752	87,211
事務事業の概要			再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり		
町の文化活動の拠点として、様々なジャンルの優れた作品を鑑賞する機会を提供している。また、町民が自主的な文化活動や創造活動の場として利用できるよう、効率的な維持管理に努めている。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	郷土資料館事業の充実	図書館	61,272	66,047	61,461
事務事業の概要			再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり		
瑞穂町に関する歴史・文化・教育的資料を収集し、保管及び展示して町民の利用に供し、その教養学術及び文化の向上に寄与することを目的として、調査研究の成果を展示・刊行物の発行・講演会の開催等の方法により周知するよう図る ほか					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	文化財保護事業の充実	図書館	5,140	2,784	5,436
事務事業の概要			<ul style="list-style-type: none"> 郷土研修会・文化財展・郷土歴史講演会・自然に関する講演会などの事業を実施し、町民の郷土に対する意識の向上を図る。 文化財保護法第93条の規定に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等についての試掘・立会調査を実施し、その結果を記録する。 ほか 		
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
4	耕心館事業の充実	図書館	41,979	43,617	43,121
事務事業の概要			再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり		
町民に心安らぐくつろぎの場を提供する。また、周辺地域の優れた音楽、美術・工芸などの鑑賞事業や季節に合わせた事業を実施し、文化・芸術に触れる機会を創出することにより、町民の文化・芸術振興に寄与する。					

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
5	ふるさとづくり推進事業	図書館	36	30	63
			事務事業の概要 瑞穂町では、先人達が築いてきた文化や歴史、狭山丘陵をはじめ広大な平地林や農地など、里山を代表する自然が今も大切に残されている。しかし、郷土の歴史や自然など各分野についてまだ知られていない数多くの魅力がある。ふるさとづくり推進事業では、町民が再度ふるさとを見直すために、歴史、観光、自然の3つの分野を中心に、今後の教養学術及び地域に根ざす文化の向上を推進する。		
合計額			192,768	205,230	197,292